

第49回水の週間実施報告書



令和7年12月

水の週間実行委員会

第49回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の
皆様のご支援・ご協力により開催されました。

主催機関

水循環政策本部 国土交通省 東京都
水の週間実行委員会

後援機関

文部科学省 農林水産省 経済産業省
環境省 独立行政法人 水資源機構
公益財団法人 日本科学技術振興財団 NHK 一般社団法人 日本新聞協会

協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団	一般財団法人 河川情報センター	一般社団法人 建設広報協会
一般社団法人 建設コンサルタント協会	一般財団法人 国土技術研究センター	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
一般財団法人 水源地環境センター	石油連盟	一般社団法人 セメント協会
一般社団法人 全国建設業協会	公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会	一般財団法人 ダム技術センター
一般社団法人 ダム・堰施設技術協会	電気事業連合会	一般社団法人 日本埋立浚渫協会
一般社団法人 日本ガス協会	一般社団法人 日本橋梁建設協会	一般社団法人 日本経済団体連合会
一般社団法人 日本建設機械施工協会	一般社団法人 日本建設業連合会	一般財団法人 日本建設情報総合センター
一般社団法人 日本水道工業団体連合会	日本製紙連合会	一般社団法人 日本鉄鋼連盟
一般社団法人 日本電機工業会	一般社団法人 日本ホテル協会	一般社団法人 日本林業土木連合協会
一般社団法人 日本レストルーム工業会	公益財団法人 リバーフロント研究所	

水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット	公益社団法人 日本水道協会	公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金
一般財団法人 造水促進センター	全国簡易水道協議会	一般社団法人 日本治山治水協会
公益社団法人 日本下水道協会	公益社団法人 土木学会	公益社団法人 日本河川協会
一般財団法人 日本ダム協会	公益社団法人 農業農村工学会	一般社団法人 日本工業用水協会
地下水適正管理協議会	国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター	
独立行政法人 水資源機構	特定非営利活動法人 日本水フォーラム	

(目 次)

第 49 回「水の週間」の開催にあたり	4
第 49 回「水の週間」水を考えるつどい瑠子女王殿下おことば	8
第 49 回「水の週間」行事の概要	9
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	10
「水の日」・「水の週間」第 50 回記念ロゴマーク	14
水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	15
令和 7 年度水資源功績者表彰	17
第 47 回全日本中学生水の作文コンクール	20
一日事務所長体験	24
第 40 回水とのふれあいフォトコンテスト	26
上下流交流活動	29
国・地方公共団体等における取組について	32
広報の取組	36
第 49 回「水の週間」(令和 7 年度) 都道府県行事一覧	40
第 49 回「水の週間」新聞等報道状況	41
「水の週間」実施経過	43
水の週間実行委員会について	47

※表紙の写真は、第 40 回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「気持ちいい!!」：白木勇治氏

※表紙のロゴマークは、平成 27 年に選定された「健全な水循環」に関するロゴマーク

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

第49回「水の週間」の開催にあたり



しおみ ひでゆき 塩見 英之 国土交通省国土交通審議官

国土交通審議官を務めております塩見英之でございます。

本来であれば、中野大臣がこの場にお邪魔をし、皆様にご挨拶を差し上げるところでございましたけれども、ちょうど本日から国会が開会され、ちょうどこの時間、開会式が行われ、そこには出席しなければなりません。出席が叶わなくなりましたので、私が指示を受け、大臣の挨拶文を代読させていただきます。

本日は、瑠子女王殿下の御臨席を賜り、第49回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」が、開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

また、開催にあたり、多大なご尽力を賜りました小池会長を始め、全ての関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げますとともに、全日本中学生水の作文コンクールで入賞された皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

いのち
水は、生命の源であり、人の営みの基礎として私たちの生活に大きな「恵み」を与え続けています。その一方で、洪水や渇水などの「災い」をもたらすこともあります。世界的にも気候変動などの様々な要因が水循環に変化を生じさせ、水災害の激甚化・頻発化や生態系への影響など、様々な問題が顕著となっています。

このような中、昨年8月に水循環基本法に基づく新たな基本計画が閣議決定されました。流域のあらゆる関係者が協働し、流域治水、水利用及び流域環境の保全等に一体的に取り組む「流域総合水管理」の展開などを柱とし、健全な水循環の維持又は回復に向けて、水に関する施策を総合的に進めることとしています。

こうした施策の推進に当たりましては、国民の皆様に、水に対する関心を持っていただくことが不可欠です。

そのため、毎年、8月1日を「水の日」、「水の日」から始まる1週間を「水の週間」とし、この記念行事をはじめとして全国各地で様々な関連行事を開催しております。

本日の「水を考えるつどい」が、水のもたらす恵みを将来にわたって享受できる社会の構築に向けた一助となりますことを、心より期待しております。

結びとなりますが、本日ご参加の全ての皆様の尚一層のご活躍とご健勝を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

令和7年8月1日 国土交通大臣・水循環政策担当大臣 中野 洋昌 代読



東京都知事 代理出席 三宮 隆 東京都都市整備局理事（航空政策・交通基盤整備・交通政策担当）

ただ今御紹介いただきました東京都都市整備局理事の三宮でございます。

本日ここに、瑠子女王殿下の御臨席のもと、第49回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」を開催できることを、大変光栄に思います。御列席の皆様に、心から御礼を申し上げます。

本来ならば小池知事が御挨拶を申し上げるところですが、出席が叶いませんでしたので、知事から預かってまいりました挨拶を代読させていただきます。

多くの皆様の御尽力により、本年も「水の週間行事」が全国各地で盛大に繰り広げられます。都民・国民の皆様が、水の大切さを改めて考える上で、誠に意義深いことと存じます。

社会の不確実性が高まる中、東京都が、明るい未来を切り拓く「2050 東京戦略」の下で政策を推し進める上で、「水」は重要な要素であります。

例えば、線状降水帯の被害など気候危機が深刻化する中、「水」から命を守る取組の強化は不可欠です。環七地下など広域地下河川での調節池の連結、高規格堤防の整備に伴う高台の確保のほか、雨水流出抑制と緑の充実に繋がるグリーンインフラを、公共・民間施設に導入してまいります。

他方で、「水」は東京の大きな魅力であります。蛇口から直接おいしい水を飲むことができる、世界有数の高い水道技術や運営ノウハウを未来に引き継ぎ、国際展開も進めてまいります。

また、江戸の歴史資源が色濃く残る日本橋川周辺では、首都高地下化工事の本格化に伴い、新たな魅力を備えた「水の都」づくりも進んでいます。

本年9月と11月に東京で開催される世界陸上とデフリンピックは、東京の様々な魅力を世界に発信する絶好の機会です。

関係者の皆様のお力添えを賜りながら、「水」の危険から命を守り、「水」の豊かな魅力を活かす取組を、更に力強く進めてまいります。

本日お集まりの皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念して、御挨拶とさせていただきます。

令和7年8月1日 東京都知事 小池 百合子 代読



水の週間実行委員会 小池 俊雄 会長

水の週間実行委員会会長の小池俊雄でございます。

本日第49回目の「水の日」及び「水の週間」を迎えるにあたり、ここに瑠子女王殿下の御臨席のもと、多くの方々にご参加いただき、この「水を考えるつどい」を開催することができまして、誠にありがとうございます。また嬉しく思います。主催者の一人として厚く御礼申し上げます。

この「水の日」および「水の週間」は、昭和52年5月の閣議了解によって制定されました。そして、平成26年に制定された水循環基本法におきまして、「国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため」にこの「水の日」および「水の週間」が定められました。ここで言われる「健全な水循環」とは、「人間社会の営みと自然環境の保全に果たす水の機能が適切にバランスしている状態」をいいます。

さて、只今、台風9号が接近中で、一時的に暑さが和らいでいますが、今年も大変暑い夏ですね。3日前の29日には最高気温が35度を超える地点が322か所となり、これまでの最多記録を塗り替えました。一昨日の30日には兵庫県の丹波市柏原（かいばら）で、我が国の観測史上最高の41.2度が記録されました。温暖化現象を肌で感じる日々が続いています。この気候の変化によって、私たちが目指す「健全な水循環」に脅威が迫っています。

みなさまご存じのとおり、今年は西日本においては史上最速の梅雨明けとなりました。また、記録的な洪水が世界各地で頻発しており、アメリカ南部テキサス州で7月に起きた大規模な洪水では、これまでに死者が120人にのぼり、依然多くの方々の安否がわかつていないという報道もあります。世界各地でこれまで経験したことがないような水関連災害に関する被害が繰り返されています。気象庁が今年3月発表した気候変動に関する報告書では、これまでの観測からも、また将来の予測からも、極端な大雨の発生頻度は増加しており、雨が強ければ強いほど、気候変動による増加率が大きいと報告されています。

このような変化に、私たちはどのように対処していくべきなのでしょうか。

先月7月8日、ニューヨークの国連本部にて「第7回国連水と災害に関する特別会合」が開催され、「水と災害の協力とパートナーシップ」をテーマに議論が行われました。会議の冒頭では、天皇陛下からビデオメッセージを頂きました。陛下は、日本古来の事例や、明治期のオランダ人技師の協力を得た日本の水資源開発の事例、インドネシアでの砂防技術に関する国際協力の事例をご紹介下さり、次のようにお纏めになられました。

「地球温暖化が進行し、洪水や干ばつ、水需給のひっ迫に人類が直面している現在、様々なレベルでの協力とパートナーシップを進めることの可能性に一人一人が気付き、行動を起こすことが今こそ求められているように思います。」

このようにお教えいただき、私どもはもちろん、各国代表の皆さんに深い感動を与えてくださいました。

冒頭にご紹介した「健全な水循環」という考え方は、本日もおいでいただいている、私の前の水の日の会長を務められた東京大学名誉教授の虫明功臣先生が昭和時代の終わりに提唱されました。

また平成9年には、法律が改正され、環境を保全することが河川管理の目的となり、現在では環境の保全や修復に加え、あるべき環境を創成していくというネイチャーポジティブの取り組みも始まっています。

そして、この令和の時代、気候変動への適応として、我が国では最先端の科学技術を駆使して気候の変化を洪水対策の計画に盛り込む手法が開発され、洪水被害の発生を減らすための施設整備に適用されています。さらに、流域のあらゆる関係者が、上流、下流のあらゆる場所で協力して、洪水の影響をできるだけ減らし、素早く復旧できる体制を構築して、持続可能な社会づくりへの取り組みが始まっています。これらを合わせて「流域治水」と呼ばれています。

これらを受けて、令和6年8月30日に閣議決定された「水循環基本計画」では、洪水対策、水の利用、そして水の環境を、流域のあらゆる関係者が協力して統合的に取り組む「流域総合水管理」の考え方方が打ち出され、これらの一体的な推進について、このほど国2つの審議会が協力して、答申が纏められました。

今年の「水を考えるつどい」は、この流域総合水管理の考え方を踏まえて、

「治水・利水・環境の調和を目指して ～いろんな水、探してみよう～」

としております。本日、全日本中学生水の作文コンクールで入賞の栄誉を受けられる皆さんの作文を拝読しましたが、水を色々な角度からとらえておられ、水の貴重さと有限性、水と人との関わりを考えさせられる力作ばかりでした。感動を頂きました。誠にありがとうございました。

このように、私たち一人ひとりが水と共に歩む社会のあり方を考え、それを国民運動として全国に展開し、さらには世界に発信していきたいと思います。その推進に向けて皆さまの一層のご協力をお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせて頂きます。

令和7年8月1日

水の週間実行委員会会長 小池 俊雄

第49回「水の週間」水を考えるつどい

瑠子女王殿下 おことば



ただいまご紹介をいただきました瑠子でございます。今年も水のつどいにお招きいただきまして、大変ありがとうございました。今回、冒頭ではございますが、元々予定されていたスケジュールから、私の体調の問題で、このご挨拶だけで退席をさせていただくことになってしまって、団体の皆様そして受賞された皆さんには大変申し訳なく思っております。この後ご挨拶をさせていただき、お聞き苦しいところもあるかと思いますが、温かい目で見ていただければと思います。

先程、小池会長から先に言われてしまいましたが、私も今回受賞された皆さん作文を読ませていただきました。今まで色々なところでお伝えをさせていただいているのですが、応募して下さった皆さんも、今回受賞された皆さんも、しっかりと「水」に対する発信者になっていることをとても嬉しく思っております。

作文の中には「感謝」や「守る」また「人とのつながり」という言葉を多く見られたのも、私よりも若い方々がそのような言葉や想いを持って下さるというのも、大変嬉しく、未来は明るいなと感じました。

今、メディアからの発信というもので、惑わされることも多い世の中になっておりますが、皆さんの力で正しい情報をたくさん伝えていっていただけたらと思っております。

これからも「水」については勿論ですが、様々なことにも皆さんには興味を持っていただいて、日々を過ごしていただけたらなと思います。

これからも水のつどいの発展ができますことを心からお祈り申し上げて、私のご挨拶とさせていただきます。

第49回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	<p>1. 水を考えるつどい</p> <p>日時:令和7年8月1日(金) 14:00~</p> <p>場所:イノホール(東京都千代田区)</p> <p>内容: ①主催者挨拶、瑠子女王殿下おことば ②第47回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ③上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ④基調講演(気象キャスター・井田寛子氏) ⑤パネルディスカッション(井田寛子氏、知花武佳氏、中貝宗治氏及び小池俊雄氏)(注1)</p>	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会 (注2)</p> <p>後援:文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、(独)水資源機構、(公財)日本科学技術振興財団、NHK、(一社)日本新聞協会</p>
	<p>2. 水のワークショップ・展示会「いろんな水、さがしてみよう」</p> <p>日時:令和7年8月4日(月) 10:00~16:00</p> <p>場所:科学技術館(東京都千代田区)</p> <p>内容: ①「魚と水のはなし」 (東京学芸大学 吉富友恭教授) ②プロジェクトWETワークショップ「みんなの水」 (2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さん) ③お天気と水に関するおはなし (気象キャスター 向笠康二郎さん) ④ダムなんでも相談室、工作教室及びパネル展示</p>	主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会
令和7年度水資源功績者表彰	水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人及び団体に対して、国土交通大臣が表彰状を授与。	主催:国土交通省
第47回全日本中学生水の作文コンクール	<p>「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。</p> <p>都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与。</p>	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県</p> <p>後援:文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会</p>
一日事務所長体験	全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者のうち、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施。	
第40回水とのふれあいフォトコンテスト	健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水を安定的に届けるための施設の大切さについて広く理解と関心を深めることに資する写真作品を募集したフォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。	<p>主催:実行委員会</p> <p>後援:国土交通省、東京都、(独)水資源機構</p>
上下流交流事業実施団体への助成	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動等を行う団体等に対し助成を実施。	主催:実行委員会
施設見学会	ダムや浄水場などの水に係わる施設の見学会を各都道府県等において実施。	主催:都道府県ほか
その他	・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しの実施 ・ポスターの配布・掲示	

(注1)中貝宗治氏は当日欠席。

(注2)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指す。

水の週間中央行事「水を考えるつどい」



令和7年8月1日（金）、三笠宮家の瑠子女王殿下の御臨席を賜り、イイノホール（東京都千代田区）において「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催されました。

はじめに、主催者による挨拶の後、瑠子女王殿下よりおことばを賜りました。

続いて、「第47回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰式が行われ、最優秀賞及び優秀賞を受賞された皆さんへの賞状の授与、最優秀賞（内閣総理大臣賞）を受賞された宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校1年生の大峯果林さんによる作文の朗読、「水の日」応援大使のポケモン「シャワーズ」も参加した記念撮影が行われました。

会場のホールでは、表彰式の後、気象キャスターである井田寛子氏に「近年の異常気象と気候変動～水の脅威と恵み～」と題しまして、熱中症や近年激甚化する気象災害、地球温暖化等について基調講演をしていただきました。その後、国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長でもある、小池俊雄水の週間実行委員会会長がコーディネーターを務める中、基調講演をしていただいた井田寛子氏、政策研究大学院大学教授の知花武佳氏とのパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションは「治水・利水・環境の調和を目指して」をテーマとし、井田寛子氏からは「水」に関する情報発信に関連した議論を、知花武佳氏からは全日本中学生水の作文コンクールの受賞者の作文を交えた議論を展開いただいたほか、受賞した中学生からの質問にもお答えいただきました。当日ご欠席された元豊岡市長/一般社団法人豊岡アートアクション理事長の中貝宗治氏からは、豊岡市のコウノトリの野生復帰の取組に関する資料を提供いただき、小池俊雄水の週間実行委員会会長から内容を紹介しました。

パネルディスカッションの後は、小池俊雄水の週間実行委員会会長から、令和8年に第50回を迎える「水の日」・「水の週間」の記念ロゴマークを発表しました。

【内容】

○主催者挨拶

中野 洋昌（水循環政策担当大臣・国土交通大臣）

（代読：国土交通省国土交通審議官 塩見 英之）

小池 百合子（東京都知事）（代読：東京都都市整備局理事 三宮 隆）

小池 俊雄（水の週間実行委員会会長／国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長）

○瑠子女王殿下 おことば

○第47回全日本中学生水の作文コンクール表彰式



記念撮影

○基調講演「近年の異常気象と気候変動～水の脅威と恵み～」 井田 寛子 氏（気象キャスター）



○パネルディスカッション「治水・利水・環境の調和を目指して」

コーディネーター：小池 俊雄 氏（水の週間実行委員会会長／国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長）

登壇者：井田 寛子 氏、知花 武佳 氏（政策研究大学院大学 教授）



○第50回「水の日」・「水の週間」記念ロゴマークの発表



○会場内 展示のようす



流域治水オフィシャルサポーター制度ポスターほか



流域治水関連パネル



「水の日」応援大使「シャワーズ」フォトパネル・スタンプ



主催機関関係展示



水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品および水の作文コンクール入賞作文パネル

令和7年度 第49回「水の日」記念行事 入場無料 事前申込制 

水を考えるつどい —治水・利水・環境の調和を目指して—

開催日時
令和7年8月1日(金)
14:00~16:30
(会場での受付開始時間 13:00)

会 場
イイノホール
(東京都千代田区内幸町2-1-1
飯野ビルディング4階)

14:00~14:50
主催者挨拶／全日本中学生水の作文コンクール表彰式など

15:00~15:30 基調講演
「近年の異常気象と気候変動～水の脅威と恵み～」
井田 寛子氏(気象キャスター)

15:40~16:30 パネルディスカッション
「治水・利水・環境の調和を目指して」

●コーディネーター
小池 俊雄氏(国立研究開発法人土木研究所水害災・リスクマネジメント国際センター長／水の週間実行委員会会長)

●パネリスト
井田 寛子氏(気象キャスター)
知花 武佳氏(政策研究大学院大学教授)
中貝 宗治氏(元豊岡市長／一般社団法人豊岡アートアクション理事長) 知花 武佳氏 中貝 宗治氏 小池 俊雄氏

写真:霞ヶ浦と小美玉市(茨城県)

ポケモン Water シャワーズ シャワーズはきれいな水道に生まれ、
麗能が水の分子に似ていることから、「水の日」を喜んで「水の日」を応援しています。
©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Pikaachu. ©2023 POKÉMON Inc.
ザウトキソルターポケモンアカデミーは英語「Water」の「Water」の「Water」。

健全な水循環  水循環基本法に基づき8月1日が「水の日」と定められました。
8月1日から7日は「水の週間」です。 www.mizunohi.jp 

主催: 水循環基本法、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会
後援: 水都科学省、豊林水産省、経済産業省、環境省ほか
「水の日」水の週間にに関する情報は各ホームページへ(首相官邸、国土交通省、水の日・水の週間)

流域治水 

「水を考えるつどい」開催周知チラシ

「水の日」・「水の週間」第50回記念ロゴマーク

令和8年に、水の日・水の週間が第50回を迎えることから、その機運を醸成するため、記念ロゴマークを作成しました。このロゴマークは、水の日・水の週間の大きなテーマである「水循環」から成り立っています。



コンセプト

このロゴマークは、水の日・水の週間の大きなテーマである「水循環」を表しています。雨が降り、それを貯めて、農業に使ったり、町に引き込んで飲み水にしたりする「利水」と、雨を貯めることで、下流側に流れる水の量を調節し、水害から町を守る「治水」が表現され、また、それを線で繋げることで、地表を流れる水と、地下を流れる水や下水道のように水を再生してまた水の循環に乗せていく流れが表現されています。

そして、緑や生き物が元気でいられるためにも、水の「環境」が大事であること、さらにその環境は、人々の生活を支えていることなど、様々な形の水のシーンに思いがおよぶようなデザインになっています。

気候変動が進む今、繊細な水循環を守ることは社会の重要課題であり、水資源の貴重さや水循環の保全に対する人々の意識が、水の日・水の週間第50回を契機として一層高まるよう、願いが込められています。

水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」

水の週間実行委員会では、毎年8月に東京都内で水に関するパネル展示やブース出展などを行う「水のワークショップ・展示会」を開催しています。今年度は、「いろんな水、さがしてみよう」と題したイベントを令和7年8月4日（月）に科学技術館で開催しました。

主なイベントとして、「魚のウロコのはなし」の著書でもある東京学芸大学環境教育研究センター吉富友恭教授による「魚と水のはなし」と題した水循環に関する講演、気象キヤスター向笠康二郎さんによる「お天気と水に関するおはなし」と題した講演、（公財）河川財団の協力による2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんによるプロジェクトWETのプログラムのひとつ「みんなの水」を会場の子供たちといっしょに実演しました。

また、科学技術館内で「ダムなんでも相談室」、工作教室のほか、水の週間実行委員会委員団体・協賛団体によるパネル・ポスター展示を行いました。

これらのイベントには、科学技術館に入館された多くの方々が参加され、イベントを通じて参加者の皆さんのが水に関する関心が高まったものと考えています。



水の週間 HP での紹介ページへ

水のワークショップ・展示会ポスター

○「水のワークショップ・展示会」



「水のワークショップ」会場（科学技術館）

東京学芸大学 吉富友恭教授による

「魚と水のはなし」



2023 ミス日本「水の天使」 竹田聖彩さんによる

プロジェクト WET ワークショップ「みんなの水」



気象キャスター 向笠康二郎さんによる

「お天気と水に関するおはなし」



パネル展示



工作教室

令和7年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、水資源功績者として表彰されました。表彰式は令和7年8月5日（火）に国土交通省において執り行われ、高橋克法国土交通副大臣から表彰状が授与されました。

〔個人〕・・・2名（（）内は推薦者）

受賞者	功績概要
沖 大幹 (国土交通省)	<p>東京大学大学院工学系研究科 教授</p> <p>水文学の研究により、数値モデリングを通じて水文学、気候変動、持続可能性の間の結びつきに関する理解を大きく前進させる卓越した学識を示した。世界の主要河川のデジタルマッピングであるTotal Runoff Integrating Pathways (TRIP) により、様々な土地管理や気候シナリオのもとで必要とされる緑の水資源（土壤水分）を明らかにするなど、世界の水の供給と需要の現状と、気候や社会の変化の下での将来予測推定を可能にし、水の持続可能な管理に向けた国際社会の取組を促進した。</p> <p>これらの業績が評価され、2024年8月に水のノーベル賞とも呼ばれるストックホルム水大賞を受賞した。</p>
三富 佳一 (新潟県)	<p>柏崎土地改良区 前理事長</p> <p>土地改良区理事長として、水利施設の適切な維持管理等に指導力を発揮したほか、令和元年度に竣工した国営かんがい排水事業において、柄ヶ原ダム、後谷ダム、市野新田ダムの事業推進と早期完成のため関係機関（国、県、市町村）と連携し水資源開発に尽力した。</p> <p>また、3ダムの完成後は、流域治水協議会・減災対策協議会の構成員として、治水協定に基づく事前放流等による洪水調節に積極的に協力し、下流域の被害リスク低減に貢献している。長きにわたり、県土地改良事業団体連合会会長並びに県議会議員として、新潟県全域の農業用水の安定確保による農業の振興に貢献した。</p>

[団体] ・・・ 5団体 (() 内は推薦者)

受賞者	功績概要
特定非営利活動法人 里山自然学校 はずみの里 (岩手県)	<p>環境省の里山環境モニタリングサイト1,000事業における岩手県内唯一のコアサイトとして生態系調査を開始し、地元の小学生等を対象とした川の水質調査体験会も行っているほか、森林学習会を開催するなど、水環境の保全の普及啓発活動を精力的に実施している。</p> <p>このほか、公共工事等に係る動植物調査にも協力するなど、生物多様性に優れた水資源の維持に貢献している。</p>
北上川フィールド ライフクラブ (岩手県)	<p>花巻市内の北上川周辺の清掃活動を行い、河川の環境保全、環境美化に取り組んでいるほか、「カッパ天国」と称した川遊び体験により水生生物調査や水辺調査を行い、地域の小学生や住民を対象に環境学習を実施している。</p> <p>また、国土交通省が取り組んでいる「かわまちづくり」について、花巻市が推進する「花巻市（仮称）花巻地区かわまちづくり計画策定協議会」の委員として参画するなど、水資源行政の推進にも寄与している。</p>
安積疏水土地改良区 (福島県)	<p>安積疏水の水路が完成して以降、長きにわたり郡山市・須賀川市・本宮市・猪苗代町の3市1町、8,000haを超える水田への用水等に活用するための維持管理を実施している。</p> <p>また、猪苗代湖及び猪苗代湖流域の水源地域の環境保全のため、流域住民や団体、事業者、行政機関が連携した清掃活動に参加しているほか、郡山市及び近隣市町村の小学校を始め多くの団体への現地案内や、「安積疏水を訪ねる小学生の集い」と称した十六橋水門・上戸頭首工・田子沼分水工などの案内を実施しており、環境保全、地域活性化に取り組んでいる。</p>

受賞者	功績概要
特定非営利活動法人 雨水市民の会 (東京都)	<p>阪神淡路大震災や東日本大震災において被災地への雨水タンク等の設置支援を行ったほか、安全な飲み水の確保が難しいバングラデシュにおいて雨水利用国際協力事業を開始し、以後スカイウォータープロジェクトとして雨水タンク普及事業を実施するなど、雨水活用支援を通じた社会貢献事業を実施してきた。</p> <p>また、自治体、事業者等と連携しながら、雨水活用・水循環に関する市民向け講座などの環境学習事業を実施し、雨水活用の普及啓発を図っている。</p> <p>2024年には、「第14回雨水ネットワーク全国大会2024 inすみだ」を中心となって開催するなど、全国規模での雨水活用の普及に貢献している。</p>
特定非営利活動法人 耶馬溪の自然と景観 を守る会 (大分県)	<p>平成19年の設立当時から耶馬溪ダムやその周辺などにモミジ2,000本以上、サクラ300本以上を植栽するとともに、下草刈りや清掃活動などを実施している。</p> <p>この「耶馬溪の森林（もり）」は、耶馬溪の観光スポットの1つとして多くの観光客が訪れているほか、清掃活動等は近隣の住民のみならず、ダム水の供給先の市町の住民が参加して行われており、環境保全とともに地域活性化に貢献している。</p>



令和7年度水資源功績者表彰 受賞者集合写真

第47回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第47回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は239校より総数7,482編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞1編、優秀賞9編及び入選30編が選ばれました。

表彰式は、令和7年8月1日（金）に東京都千代田区のイイノホールで開催された第49回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」にて執り行われ、優秀賞以上の受賞者に関係機関の代表者から賞状が授与されました。

表彰式に続いて最優秀賞を受賞された宮崎県宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校1年生
大峯果林さんによる作文の朗読が行われました。

（1）主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県
後 援：文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

（2）募集要領

- ①テー マ：「水について考える」（題名は自由）
- ②原 稿：400字詰原稿用紙4枚以内

（3）中央審査会審査委員 ※敬称略 審査当時

瀧川 拓哉（農林水産省農村振興局整備部水資源課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
市川 紀幸（経済産業省経済産業政策局地域産業基盤整備課課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
片貝 敏雄（国土交通省大臣官房審議官（水管理・国土保全局担当）
：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）
吉川 圭子（環境省水・大気環境局環境管理課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
岩崎 紀美子（全日本中学校長会編集部長）
須磨 佳津江（キャスター）
長崎 宏子（スポーツコンサルタント 元オリンピックスイマー）
渋谷 正夫（公益社団法人 日本水道協会調査部長）
藤井 政人（独立行政法人水資源機構理事）
橋本 淳司（水ジャーナリスト 武藏野大学客員教授）

※表彰式の集合写真は、P11をご覧ください。



第47回 全日本中学生 水の作文コンクール 作品募集

国土交通省が実施する中央審査会において、最優秀賞・優秀賞を受賞された方は、8月上旬の表彰式での賞状の授与、ダム・河川管理事務所等での1日事務所長体験、シャワーズがデザインされた名刺をプレゼント! ※最優秀賞(1編)、優秀賞(10編程度)

考えよう。そして伝えよう。

大切な「みず」のこと。

「水」をテーマにした作文を募集します。

「水」とは、みなさんにとって、どんな存在ですか?

暮らしの中での体験や、授業などで学んだこと、調べたこと…

みなさんにとって、大切な「水」への思いをつづってみませんか?



ポケットモンスター

No.134 シャワーズ

タイプ みず とくせい ちよすい

シャワーズはきれいな水辺に生息し、細胞が水の分子に似ていることから、「水の日」応援大使として8月1日「水の日」を応援しています。

▲ メインテーマ

水について考える
(個別の題名は自由)

応募対象

中学生(2025年4月時点)
海外からの応募もお待ちしています。
※作品は日本語でお書きください。

応募締切

【国内】各都道府県の水資源担当部局にお問い合わせください
【海外】令和7年5月16日(金)

提出先(問い合わせ先)

国土交通省水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号
TEL:03-5253-8386(直通)

【主催】水循環政策本部、国土交通省、都道府県

【後援】文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

水の作文 検索

※詳しくは、次元バーコードから
「水の作文コンクール」ページをご覗ください。



8月1日は「水の日」 | 水循環基本法で、8月1日は「水の日」と定めています。8月1日から7日は「水の週間」です。

©2024 Pokemon. ©1995-2024 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokemon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

第47回全日本中学生水の作文コンクール ポスター

第47回全日本中学生水の作文コンクール 入賞者・入選者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	宮崎県	人の暮らしと命を支える	みやざきけんりつみやこのじょういげみがおひこうがっこうみやざきけんりつみやこのじょういげみがおひこうがっこう宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校	1	おおみね 大峯 果林
優秀賞 農林水産大臣賞	福島県	水との関わり	いぶきらようりつやぶきゅうがっこう 矢吹町立矢吹中学校	2	まろね 諸根 さつき
優秀賞 経済産業大臣賞	千葉県	水と龍といのちをつなぐもの	しょうりんちゅうがっこう 翔凜中学校	1	えぐち 江口 明祐希
優秀賞 国土交通大臣賞	神奈川県	水でつながる大きな家族の一員として	ずしかいせいせいちゅうがっこう 逗子開成中学校	1	かどま 風間 修羽
優秀賞 環境大臣賞	滋賀県	僕が守りたい風景、きれいな水	おうみきょうだいしゃちゅうがっこう 近江兄弟社中学校	1	かくおか 福岡 けい 京
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	長崎県	生かし生かされる	ながさきだいがくきょういくくぶみやぞくちゅうがっこう 長崎大学教育学部附属中学校	1	こみね 小嶺 彩
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	京都府	メダカが活き活き泳ぐ川	きょうじゅせんさんかがくだいがくみやぞくちゅうがっこう 京都先端科学大学附属中学校	2	くすもと 楠本 健琉
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	石川県	水道への感謝と僕の決意	がっこうこうじゅんいなおきがくみんせいわくちゅうがっこう 学校法人稲置学園星稜中学校	1	よしだ 吉田 喜一
優秀賞 シャワーズ賞	福井県	生き物との共生のために	かくいしりいとうちゅうがっこう 福井市大東中学校	3	みきや 三木家 杏珠
優秀賞 中央審査会特別賞	滋賀県	川の始まりと水の未来	ひがしおもしりつけいわくわちゅうがっこう 東近江市立能登川中学校	3	たにざわ 谷澤 あかり
入選(30編)	岩手県	水を生かす。水で生きる。	もりおかしりつうえだちゅうがっこう 盛岡市立上田中学校	3	あいがわ 芥川 雄哉
	宮城県	めぐる水～故郷の川を守るために～	いしのまきりつへいだちゅうがっこう 石巻市立蛇田中学校	2	さかもと 坂本 悠維
	秋田県	「水」の恐ろしさ	あきたまきりついわみさないちゅうがっこう 秋田市立岩見三内中学校	2	おがわねら 小笠原 弘健
	秋田県	岩見川の未来	あきたまきりついわみさないちゅうがっこう 秋田市立岩見三内中学校	2	いしづか 石塚 愛葉
	茨城県	私たちの水と森	いばらきだいがくきょういくくぶみやぞくちゅうがっこう 茨城大学教育学部附属中学校	3	おおこし 大越 玲舞
	栃木県	ダムを通して考えたこと	とちがけんりつみやひがうどうがくふぞくちゅうがっこう 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	2	きわ 金 悠俊
	東京都	大好きな水辺を取り戻すために	とうきょうじょがくみんちゅうがっこう 東京女学館中学校	3	たけうち 竹内 杏
	東京都	綺麗な水を保つために	わようくだんじょちゅうがっこう 和洋九段女子中学校	2	いとう 伊藤 由希
	三重県	未来の海を守るために	たかだちゅうがっこう 高田中学校	2	みずたに 水谷 真菜香
	三重県	水の歴史に思いを馳せる	たかだちゅうがっこう 高田中学校	2	わたなべ 渡辺 心晴
	滋賀県	未来へ繋ぐ水	おうみきょうだいしゃちゅうがっこう 近江兄弟社中学校	1	はやし 林 咲和
	京都府	水について考える	きょうじゅせんさんかがくだいがくみやぞくちゅうがっこう 京都先端科学大学附属中学校	3	やまと 山本 栄央
	大阪府	益虫	おおさかきりついじてきいちらしゅうがっこう 大阪府立水都国際中学校	3	にしみ 面海 紫奏
	大阪府	歌枕の浜をもう一度	おおさかきりついとくさくいちらしゅうがっこう 大阪府立水都国際中学校	3	やぎ 八木 美薰
	兵庫県	水と人間の共存	ひょうごきりついだいがくみやぞくちゅうがっこう 兵庫教育大学附属中学校	2	うあだ 上田 悠智
	兵庫県	船坂川が教えてくれたこと	にしのみやしりつやまぐちゅうがっこう 西宮市立山口中学校	2	まえだ 前田 直太朗
	和歌山県	飲める水にありがとう	わかやまけんりつたなべちゅうがっこう 和歌山県立田辺中学校	3	さかくら 坂倉 朱音
	和歌山県	断水生活の練習から気付けた水の大切さ	わかやまけんりつとうようちゅうがっこう 和歌山県立向陽中学校	2	まつもと 松元 なな 菜那
	鳥取県	私の大好きな故郷・鳥取の水	とくとりしりつさくらがおかちゅうがっこう 鳥取市立桜ヶ丘中学校	3	たかはし 高橋 彩夏
	愛媛県	先人たちから学ぶ	いまばりしりつみやちゅうがっこう 今治市立南中学校	3	まえだ 前田 佳汰
	佐賀県	みなもと	きがだいがくきょういくくぶみやぞくちゅうがっこう 佐賀大学教育学部附属中学校	2	たなか 田中 純愛
	大分県	五十年後の僕へ	おおいただいがくきょういくくぶみやぞくちゅうがっこう 大分大学教育学部附属中学校	3	にじょう 西嶋 奏人
	宮崎県	「水は財産」という考え方	みやざきけんりつみやさきしこうとうがくふぞくちゅうがっこう 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	3	ほりかわ 堀川 和瑚
	鹿児島県	一服の水	かのこはうじんしがくみがさんしめがくみんちゅうとうぶ 学校法人志學館学園志學館中等部	2	みやわき 宮脇 愛
	オランダ	水と美しい自然	ほんじゆくがくふぞく アムステルダム日本人学校	2	かしげち 櫻内 友彩
	オランダ	命を紡ぎ、繋ぎ、輝かせている	ほんじんがくふぞく アムステルダム日本人学校	2	こまつ 小松 結奈
	オランダ	オランダから学ぶ水泳	ほんじんがくふぞく アムステルダム日本人学校	2	しみず 清水 朱莉
	オランダ	水と戦い、水と生きる	ほんじんがくふぞく アムステルダム日本人学校	3	ほしもじ 橋本 葉南
	ブラジル	水を巡る旅へ	ほんじんがくふぞく サンパウロ日本人学校	1	いしがき 石垣 志織
	ブラジル	チエテ川を通じて見る日本	ほんじんがくふぞく サンパウロ日本人学校	2	かんべ 神戸 風花

内閣総理大臣賞（最優秀賞）

人の暮らしと命を支える

宮崎県 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校 一年 大峯 果林

栓をひねると水が出る。朝、顔を洗う。渴いたのどを潤す水をコップに注ぐ。料理をする。洗濯をする。お風呂に入る。生活のどの瞬間にも水がある。その存在は自然で、意識することはほとんどない。水があるから生活が回るということを忘れてしまっている。けれど、私は気が付いた。この当たり前が、誰かの努力によって支えられているということに。気付いて以来、水の流れる音が少し違つて聞こえるようになった。

小学校四年生の夏の終わりのこと。大きな台風十一号が九州に接近し家の中にこもつたが、風と雨の音が大きく響いて、不安でいっぱいだった。そんな中、父は黙つて作業着に着替え、懐中電灯を手に外へ出て行った。

私の父は、市役所の水道課に勤めている。人々が安心して水を使えるように、見えないところで水を守っている。水が止まれば、昼夜関係なく現場に向かう。休日に家族で出かけているときでも、水に関わる一大事を察知すると急いで引き返して現場に向かうこともある。台風の接近はまさに一大事だ。父が嵐の中へ出て行つてしまふのが不安でたまらなかつたけれど、ぴんと背筋の伸びた父の背中を見たら、何も言なうことはできなかつた。

翌日、帰宅した父は疲れた顔をしていたが、私の目を見ながら話をしてくれた。台風の夜、病院のある地域で断水が発生したという。「病院の断水を復旧できて本当に良かった。想像して。病院が断水になると医療に使う水が足りなくなる。つまりそれは……。」「命に関わる……」思わず言葉が出てはつとした。水は生活に必要なだけではなく、人の命に欠かせない存在なのだ。水がなければ、治療も消毒もできない。薬を飲むこともできない。手も洗えずがいもできず、

感染症のリスクも高くなる。水がないことで、守れるはずの命が守れなくなる。思わず父の顔を見た。父の目はまっすぐ前を向いていた。そして

て、以前父が話していたことを思い出した。
「日本では、水を使えることが当たり前になりすぎていてはいけない。この仕事をして感謝されることはあまりない。水が使えないなって初めて水の大切さに気付いて感謝する。」その言葉の意味がようやく理解できた。

私は水道管を直すことはできないけれど、水を無駄にせず、感謝して使うことはできる。水の一滴一滴が、水のために働く人たちの技術と努力、そして強い責任感によって届けられていると知つた今、小さな行動にも意味があると感じている。学校では「水は限りある資源」と習つた。でも私は、水はそれだけでは語れないということに気付いた。水そのものだけではなく、水を支える人たちの知識や技術、経験、使命感をもつて働く姿もまた、私たちの暮らしと命を守る大切な資源だ。例えば「台風」という災害があつたとしても、水を支える人の「水を止めない」という想いが、水をつなぎ、安心を生みだしている。自然と感謝と尊敬の気持ちが私の心に広がつていった。水の波紋が広がるようにな。

そして、改めて考える。今、地球では気候変動が進み、水不足や災害が増えている。水を守る仕事の価値は、これから更に大きくなっていく。どんなに技術が進化しても、それを動かすのは人間の想いと未来を見つめる使命感だ。父は今日も人々の暮らしと命のために働いている。決して目立つ仕事ではないが、未来を支える確かな力になつていて。私もいつか、目立たなくとも誰かを支える人になりたいと思う。今、私は水を大切に使い続ける気持ちは誰にも負けない。小さなことでも自分にできることを見つけて行動したい。たつた一滴の水でも、命の水になれるのだから。

ふと顔を上げると、母が台所で流す水の音が心地よく私の耳に響いてきた。

一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の国土交通省及び独立行政法人水資源機構の事務所等に招待し、一日事務所長として職場体験が実施されました。今年度は、受賞者8名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順）。

○受賞者名 石川県 学校法人稻置学園星稜中学校
吉田 喜一さん
優秀賞（独立行政法人水資源機構 理事長賞）
実施日 令和7年8月6日（水）
実施事務所 国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所



○受賞者名 千葉県 翔凜中学校
江口 明祐希さん
優秀賞（経済産業大臣賞）
実施日 令和7年8月8日（金）
実施事務所 国土交通省 関東地方整備局
利根川ダム統合管理事務所
八ッ場ダム管理支所



○受賞者名 滋賀県 東近江市立能登川中学校
谷澤 あかりさん
優秀賞（中央審査会特別賞）
実施日 令和7年8月8日（金）
実施事務所 国土交通省 近畿地方整備局
淀川ダム統合管理事務所



○受賞者名 長崎県 長崎大学教育学部附属中学校
小嶺 彩さん
優秀賞（全日本中学校校長会会長賞）
実施日 令和7年8月14日（木）
実施事務所 国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所



○受賞者名 京都府 京都先端科学大学附属中学校
楠本 健琉さん
優秀賞（水の週間実行委員会会長賞）
実施日 令和7年8月15日（金）
実施事務所 独立行政法人水資源機構
桂川・猪名川ダム総合管理所



○受賞者名 福井県 福井市大東中学校
三木家 杏珠さん
優秀賞（シャワーズ賞）
実施日 令和7年8月19日（火）
実施事務所 国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所



○受賞者名 宮崎県 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校
大峯 果林さん
最優秀賞（内閣総理大臣賞）
実施日 令和7年8月20日（水）
実施事務所 国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所 都城出張所



○受賞者名 神奈川県 逗子開成中学校
風間 修羽さん
優秀賞（国土交通大臣賞）
実施日 令和7年8月20日（水）
実施事務所 国土交通省 関東地方整備局
利根川ダム統合管理事務所
八ッ場ダム管理支所



第40回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会
 後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水を安定的に届けるための施設の大切さを広く理解と関心を深めることに資する作品

募集テーマ

- 四季折々の自然と水
- 人々の暮らしと水
- 水を巡る歴史や文化
- 水を届けるための施設

実施内容 昨年度より応募方法をWEB方式に一本化しており、今年度は数年ぶりに応募総数が2,000点を超えるました。入賞作品は、一次審査、二次審査、最終審査を経て選定され、写真集や水の日・水の週間ホームページに掲載しています。

審査は、下記の審査員により構成される審査会において行われ、計24作品（グランプリ[国土交通大臣賞]1作品、優秀賞[東京都知事賞、独立行政法人水資源機構理事長賞、水の週間実行委員会会長賞]各1作品、特別賞[4つの募集テーマより]各5作品）を選定しました。

募集期間 令和7年5月15日（木）～令和7年6月15日（日）

応募総数 計 2,056点

審査員（敬称略 審査当時）

中 谷 吉 隆（写真家） 片 貝 敏 雄（国土交通省大臣官房審議官）
中 村 恵 美（写真家） 谷 崎 韶 一（東京都都市整備局長）
ひきたよしあき（コラムニスト） 古 橋 季 良（水の週間実行委員会運営委員長）
詩 歩（Shiho）（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー）

URL <https://www.mizunohi.jp/intro/intro05.html>



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

【入賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

「気持ちいい!!」

白木 勇治 (京都府)



〔優秀賞〕 3名

○ 水の週間実行委員会会長賞

「力水」

日當 國親 (熊本県)



○ 東京都知事賞

「川面を彩る」

清水 進 (神奈川県)



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

「満水となる」

佐藤 吉晴 (新潟県)



[特別賞] 20名

【四季折々の自然と水】

「砂丘のオアシス」	山内	まさる	(兵庫県)
「雲と彼岸花」	谷野	かずえ	(山口県)
「夏の日の思い出」	河本	しんいち	(東京都)
「春を満喫」	太田	のぶゆき	(岐阜県)
「花と水滴」	白井	ゆたか	(岡山県)

【人々の暮らしと水】

「作法」	相楽	しゅういち	(福島県)
「冬至水行」	藤牧	たかお	(富山県)
「代かき」	中村	くにお	(福島県)
「八角神輿に口を開いた水龍が現る」	鈴木	けんじ	(山梨県)
「収穫の喜び」	谷野	たかし	(山口県)

【水を巡る歴史や文化】

「脚折雨乞」	森田	えいいち	(埼玉県)
「鍛える体」	鹿島	かずお	(福岡県)
「加賀友禅灯籠流し」	中村	のりお	(石川県)
「本番近し木場の角乗り練習」	星野	こういち	(東京都)
「おめでとうございます！」	岡本	ようぞう	(東京都)

【水を届けるための施設】

「奥多摩ダム湖ウォーク」	新井	ゆうき	(宮城県)
「ゆる抜き」	団	よしお	(徳島県)
「関西万博開幕」	中本	のりあき	(兵庫県)
「田んぼを潤す」	山崎	しゅうじ	(兵庫県)
「魚道」	杉山	かおる	(東京都)

上下流交流活動

水の週間実行委員会は、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発及び健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、ダム水源地域等の振興等に資する活動を行う団体への助成事業を行っています。令和7年度についても助成に関する公募を行い、以下に掲げる18事業が行われました。

No.	実施団体	名称・内容	実施日・実施場所
1	東播用水「水と緑の交流」実行委員会	東播用水源流ミニツアーニ 東播用水の主要水源である丹波篠山地域の森林が、水環境保全に役立っている実態を理解してもらうことを目的とした東播用水の受益者並びに一般住民が上流地域の住民との交流活動を実施。	10月11日 兵庫県丹波篠山市内
2	岩見沢市役所	2025ふれあい水ひろば 水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について市民の関心を高めるとともに、岩見沢市の上下水道の理解を深めることを目的として、利き水体験や、水を浄化する体験、給水タンク車からの給水体験、上下水道に関する啓発パネル、上下水管の展示をおこなう参加型イベントを実施。	8月6日 いわみざわ健康ひろば
3	あまぎ水の文化村	ウォーターフェスティバル2025 文化村の特性を活かした上下流交流を目的とする活動として、親子で水に親しむ「ウォーターアクティビティ」(鮎のつかみどり体験・アクアチューブで水上散歩・リアルボールプール)、親子で参加できる多彩なワークショップなどのほか、地元商店による物販や飲食物の販売を実施。	7月21日 福岡県あまぎ水の文化村 アクアカルチャーゾーン
4	あさくらあるくーる	いこいのもり秋祭り・牛頸ダムウォーク 毎年10月に開催されている「いこいの森秋祭り」内での学習プログラムとして、地域の防災や水管理において重要な役割を持つ牛頸ダムをより深く知ってもらうための清掃活動も含めたウォーキングイベントを実施。	10月5日 福岡県大野城市
5	愛知用水土地改良区	愛知用水水源交流事業 水源地王滝村の村有林にて育樹作業を行い、水源涵養の大切さを体感するとともに、水源地域住民との交流を図ることにより、水源地域の現状や今後の発展等について意見交換を実施。	8月21日～22日 長野県王滝村
6	四国中央市湖水まつり実行委員会	湖水まつり 水に対する感謝や嶺南地域の活性化のため、カラオケ発表会、ステージイベント、花火大会、各種バザー等を実施。	8月2日 てらの湖畔広場 (富郷ダム法皇湖)
7	豊田市上下水道局	水循環デジタルスタンプラリー 「水の日」「水の週間」の関連行事の一環として水資源の有限性や水の貴重さ等への関心を高め理解を深めてもらうため、矢作ダムや水道・下水道に関連する施設、給水スポット「ガンダムマンホール」等を巡るスタンプラリーを実施。	8月1日～24日まで 矢作ダム、水源の森、中切水源配水場、高町配水場、飲料用循環式耐震性貯水槽 ほか10施設

8	子供のもり公園活性化協会	カヌ一体験教室 室生ダム上流に位置する副ダムを活用し、家族向けのカヌ一体験活動を実施。	6月1日～9月 平成榛原こどものもり公園
9	豊川総合用水土地改良区 公益財団法人愛知・豊川 用水振興協会	令和7年度豊川用水上下流交流事業 豊川用水の水源地や上流地域、下流地域にお住まいの児童及び保護者、教職員を対象に、普段生活している場所とは違う地域へ案内し、農業における豊川用水の有効利用について啓発交流事業を実施。	8月4日 愛知県新城市
10	利根川源流讃歌合唱団	第23回 水のふるさと「利根川源流讃歌」コンサート 平成13年度より群馬県内各地において、毎年継続開催してきた12の組曲「利根川源流讃歌」の発表。昨年は第22回を無事に開催することができた。歌の歌詞に秘められた利根川の流れ、利根川に関わる様々な人々の役目・生活・活動を表現しており、合唱活動を通して関わる多くの方々の心に響きわたらせ、利根川をいつまでも大切にしたいという想いを育んで実施。	10月19日 本庄市市民活動交流センター（はにぽんプラザ）
11	姫里地域青少年育成会 余呉・姫里子ども交流会実行委員会	第35回 余呉・姫里子ども交流交歓会 淀川（大阪）の上流となる丹生川（余呉）、その地域で暮らす子ども達と交流することでお互いの地域の良さを知る場として、水源地である余呉にて水に触れ、木の葉の音や虫の声を聴き、土の匂いをかぐ体験から、川を通してのつながりや水の大切さ、自然環境を守り育むことの大切を学ぶ交流交歓会を実施。	8月9日～10日 滋賀県長浜市余呉町一帯
12	特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議	猪苗代湖 湖藻水草回収除去事業 漂着水生植物が腐敗する前に湖岸等から取り除き、少しでも COD 値の上昇を抑制する。また、この活動によって、富栄養素の窒素、リンを湖内から少しでも取り去る事も念願において実施。	10月4日～10月25日 福島県耶麻郡猪苗代町
13	認定 NPO 法人水のフォルム	第10回上下流交流－荒川の水、もう一つの水みちを歩く 水は流域を単位にみなつながって流れている。荒川中流部の「六堰頭首工」で取水される荒川の水は熊谷・行田の田に入り、そこからの排水は星川や忍川、元荒川になり、それら河川の水は騎西町一体の田の水になり、その排水は古利根川に入る。この埼玉の水のネットワークの要所を回り、流れる水を理解する活動を実施。	8月20日 六堰頭首工、熊谷スポーツ文化公園東地、弥生水田
14	NPO 法人 地域と自然	古代湖浪漫 ちょいまるよし笛コンサート 琵琶湖開発事業でも実施した、琵琶湖周辺のよし群落保全の重要性や環境保全への啓発として、琵琶湖淀川流域、木津川流域のセイタカヨシのよし笛演奏会を開催。	9月28日 アクア琵琶
15	道志間伐材活用横浜サポート隊	道志水源林保全活動および活用活動 横浜市の道志水源林から産出された間伐材の活用を図るため、ボランティア精神において間伐材の伐採から林外搬出等の活動を実施。	5月1日～12月 山梨県道志村、横浜市（横浜ラポール）

16	岩屋ダム水源地域ビジョン推進協議会（下呂市役所）	岩屋ダムロックフィルダムフェス 岩屋ダムを活かした地域振興、下流域の自治体住民との交流、水資源の重要性の啓発等を目的として、岩屋ダムの公開放流設備点検、岩屋ダム秘蔵フィルム上映及び飲食バザー、地域資源のPR等を実施。	7月 26日 岐阜県岩屋ダム周辺
17	川崎市上下水道局サービス推進部サービス推進課	令和7年度 山北町ー川崎市交流事業 川崎市民が、川崎の水源の1つである「丹沢湖」がある山北町を訪ね、水源の森を守る作業などを体験するバスツアーを実施。	第1回：8月 8日 第2回：12月 13日 共和のもりセンター
18	神奈川県秦野市	秦野名水 Splash フェスティバル 市民共有の財産である当市の地下水を守り育て、将来にわたって利活用していくため、「秦野名水」の豊かさを広く周知することを目的に水の日関連事業「秦野名水フェスティバル」を実施。市制施行70周年の節目となる今回（第9回）は、「秦野名水 Splash フェスティバル」と題し、NPO法人と連携した水鉄砲大会を実施するなど、カルチャーパーク周辺を会場とした水と触れ合える体験を実施。	8月 2日 神奈川県秦野市

【実施状況（抜粋）】



第35回 余呂・姫里子ども交流交歓会
(姫里地域青少年育成会・余呂・姫里
子ども交流会実行委員会)



愛知用水水源交流事業
(愛知用水土地改良区)



岩屋ダムロックフィルダムフェス
(岩屋ダム公開点検放流イベント)
(岐阜県下呂市)

国・地方公共団体等における取組について

内閣官房水循環政策本部事務局をはじめとする国の機関や地方公共団体等において、水に関する理解を深めるための取組が実施されました。

○こども霞が関見学デー

日時 令和7年8月6日（水）～7日（木）

場所 中央合同庁舎3号館10階共用会議室（東京都千代田区霞が関2-1-3）

実施協力 巧水スタイル推進チーム（日本レストルーム工業会）

内容 水について考えよう！～「巧水（たくみ）検定」を行うよ～

タブレット端末を使用した「巧水検定」を行い、クイズ形式で「水の賢い使い方」を楽しく学習してもらいました。



実施協力 NPO法人雨水まちづくりサポート

内容 親子で挑戦！「あまみず検定」特別編

雨をテーマにしたミニ実験で水の浸み込みやすさと地面の関係を見たり、クイズに答えて、水循環やあまみず活用に関する知識を身につけました。



○国土交通省内でのテレビモニタ放映及び、パネル展示

期間 令和7年8月12日(火)～令和7年8月22日(金)

場所 合同庁舎3号館1階正面玄関展示スペース（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 第40回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品、令和7年度水資源功績者表彰受賞者功績概要、第47回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品を展示し、国土交通省職員及び来庁者に水の大切さをPRしました。



テレビモニタ放映状況 (水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品)



パネル展示状況 (水資源功績者表彰受賞者功績概要)

○都道府県等が実施する「水の日」・「水の週間」関連行事

国、地方公共団体、その他関係団体による「水の日」・「水の週間」関連行事が、令和7年度は全国で345行事実施されました。その中の1例をご紹介します。

甲突川リバーフェスティバル【鹿児島鹿児島市】

期 間 令和 7 年 7 月 20 日 (日) ~21 日 (月)

場 所 鹿児島市かごしま環境未来館

主 催 公益財団法人かごしま環境未来財団

参加者 約 4,500 人

内 容 8月1日から7日までの水の週間の普及啓発活動の一環として、鹿児島市を流れる甲突川で体験型イベントを開催しました。



「甲突川リバーフェスティバル」ポスター

○「水の日」・「水の週間」ブルーライトアップ

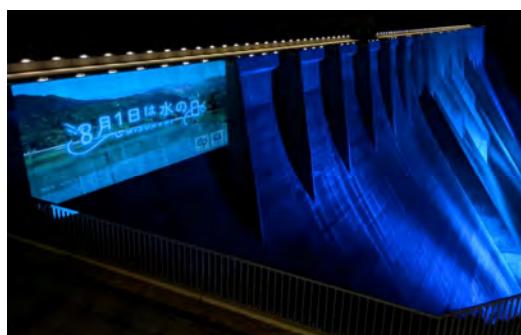
実施日 令和7年8月1日（金）～7日（木）

場 所 全国各地の施設（199か所）

内 容 より多くの人に「水の大切さ」や「健全な水循環」について考えていただくため、地方公共団体・事業者・民間の団体等の協力を得ながら、全国各地の施設を、「水」を連想させるブルーにライトアップしました。

昨年度に引き続き、「水の日」・「水の週間」である8月1日（金）～7日（木）の期間で実施しました。

ブルーに染まった各地の施設



津軽ダム
(青森県西目屋村)



館山城
(千葉県館山市)



大阪・関西万博 大屋根リング
(大阪府大阪市)



四国中央市民文化ホール（しこちゅ～ホール）
(愛媛県四国中央市)



土師ダム
(広島県安芸高田市)



大分河川国道事務所庁舎
(大分県大分市)

○第7回「水のある暮らし」フォトコンテスト【(一社)日本レストルーム工業会】

募集期間 令和7年3月1日(土)～令和7年5月15日(木)

結果発表 令和7年8月1日(金)

主催 一般社団法人 日本レストルーム工業会

入選 最優秀たぐみ賞：1点、優秀たぐみ賞：3点、たぐみ賞入選5点

内容 巧水スタイル^{※1}推進の一環として、水への関心を高め、節水を考える機会の創出を目的とした「水のある暮らし」フォトコンテストを実施しました。

幅広い年齢層の方から多くのご応募をいただき、応募作品を通して、改めて水が身近にあることの喜びとともに、その恵みの尊さ・大切さを感じることができました。

入選者は8月1日の「水の日」にあわせ、(一社)日本レストルーム工業会ホームページ等で発表しています。

※1 巧水スタイルとは、「水を賢く使う社会」の実現のために、日本が世界に冠たる水の国、巧水(たぐみ)の国となつていただけるよう、産学官の連携によって「節水意識」の向上と「節水化技術」、「節水化システム」の普及・啓発を図る活動によって目指す社会のキーワードです。



募集チラシ

第7回「水のある暮らし」フォトコンテスト 最優秀たぐみ賞 受賞作品

広報の取組

国民に「水の日」（8月1日）を広く知っていただき、健全な水循環の重要性について理解と関心を深めていただくため、令和3年7月に水循環政策担当大臣（国土交通大臣）が、ポケモンの「シャワーズ」を「水の日」応援大使に任命しました。

「シャワーズ」大使には、「水の日」PR動画への出演をはじめ、さまざまな活動を通じ、「水の日」の認知度の向上に努めています。

○「水の日」動画によるPR

投稿日 令和7年7月1日（火）

媒 体 YouTube（国土交通省チャンネル）

URL <https://www.youtube.com/watch?v=mA27T1gEdSo>

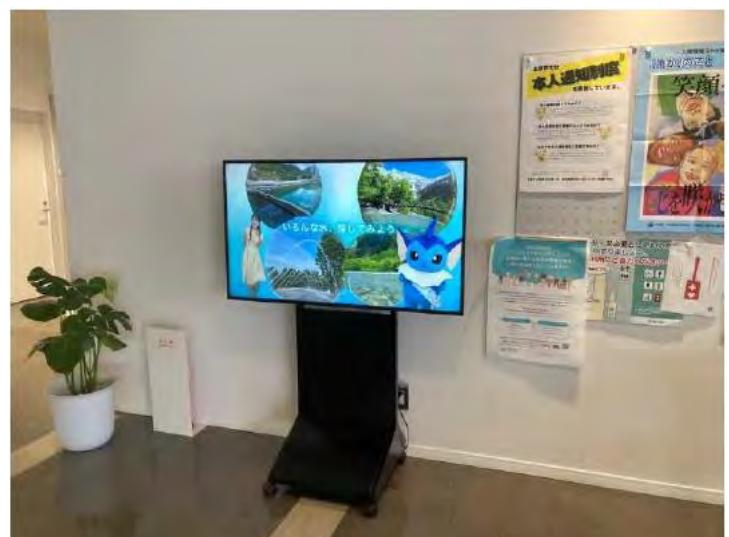
今年は長野県を舞台に、「水の日」応援大使「シャワーズ」と2025ミス日本「水の天使」の高坂実優さんが出演する「水の日」PR動画を制作し、YouTube（国土交通省チャンネル）で公開しました。



動画はYouTube（国土交通省チャンネル）以外に、国土交通省合同庁舎3号館1階展示コーナーや長井市（山形県）、土浦市役所（茨城県）など全国のデジタルサイネージにて放映されました。



山形県長井市
長井市遊びと学びの交流施設くるんと



茨城県土浦市役所

○「水の日」ポスターによるPR

期間 令和7年7月1日（火）～令和7年8月7日（木）

（一部行事等で8月7日以降も実施）

場所 関係府省庁、都道府県、市区町村、鉄道会社等で掲出

内容 動画等による周知に加えて、より多くの国民の皆様に「水の大切さ」についての理解と関心を深めていただくため、「水の日」応援大使「シャワーズ」と2025ミス日本「水の天使」の高坂実優さんを採用したポスターを制作し、積極的な情報発信を行いました。ポスターは、官公庁（地方公共団体、地方整備局等）、水資源機構事務所のほか、全国の鉄道会社やイオンモール等の民間企業の施設でも掲示いただき、「水の日」の認知度向上を図りました。

（ポスター配布枚数約2万枚）



令和7年度「水の日」ポスター

ポスター掲出状況
「水の日」関連行事（新潟県）

○「水の日」応援大使「シャワーズ」の派遣事業

地方公共団体が主催する「水の日」関連行事に、行事の実施効果を高め、「水の日」の認知度の向上及び国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めてもらうため、「水の日」応援大使「シャワーズ」を派遣しました。

今年は、3か所の「水の日」関連行事に「シャワーズ」が登場し盛り上げました。

■ 7月21日（月）鹿児島県鹿児島市 甲突川リバーフェスティバル



■ 8月7日（木）愛媛県松山市 親子で学ぼう☆水循環



■ 10月5日（日）新潟県村上市 環境フェスタ村上



また、「水の日」応援大使「シャワーズ」のフォトパネル・スタンプについて、4か所の自治体に貸出しを行い、各自治体の「水の日」関連行事の盛り上げに貢献しました。

■ 8月2日（土）長野県佐久市 水の日 in SAKU～八ヶ岳の水・浅間山の水～

※行事以外：8月1日（金）、8月4日（月）～8月7日（木）まで佐久市役所に設置

■ 8月2日（土）山形県長井市 第30回ながい水まつり

※行事以外：8月3日（日）～8月31日（日）まで長井市遊びと学びの交流施設くるんとに設置

■ 8月3日（日）香川県 水辺の納涼祭

※行事以外：8月4日（月）～8月31日（日）まで香川用水記念公園水の資料館1階ホールに設置

■ 8月23日（土）神奈川県 第22回やどりき水源林のつどい

※行事以外：8月8日（金）～8月18日（月）まで神奈川県庁新庁舎正面玄関に設置（庁舎閉館時を除く）（行事以外はフォトパネルの設置のみ）

設置の様子



水の日 in SAKU～八ヶ岳の水・浅間山の水～
(長野県佐久市)



第30回ながい水まつり
(山形県長井市)



水辺の納涼祭
(香川県)



神奈川県庁新庁舎正面玄関
(神奈川県)

第49回「水の週間」（令和7年度）都道府県行事一覧

項目	ポスター	パンフレット	講演会・音楽会・シンポジウム等会	施設見学会等	街頭アンケート	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	電光掲示板・横立看板
都道府県名													
全国	47	6	5	10	1	20	47	6	7	10	14	37	20
北海道	○				○	○						○	
青森県	○				☆	○						○	
岩手県	○					○						○	
宮城県	○					○	○	○	○	○		○	○
秋田県	○						○						
山形県	○						○					○	○
福島県	○						○					○	☆
茨城県	○					○	○		○			○	☆
栃木県	○	○					○					○	○
群馬県	○			○			○	○	☆			○	
埼玉県	○			○		☆	○	○	○	○	○	○	○
千葉県	○	○		○			○	○				○	
東京都	○		○	○			○	○				○	
神奈川県	○				☆	○				○	○	○	☆
新潟県	○						○					○	
富山県	○						○		○			○	
石川県	○						○						
福井県	○						○	○				☆	☆
山梨県	○						○	○					
長野県	○	○					○	○					☆
岐阜県	○						○	○				○	☆
静岡県	○	○	☆				○		○	○	○	○	☆
愛知県	○			☆		☆	○		○	☆		○	○
三重県	○			☆			○			☆	○	○	
滋賀県	○						○		○			○	
京都府	○		☆				○					☆	☆
大阪府	○						○	☆			☆	☆	☆
兵庫県	○						○			☆	○	○	
奈良県	○				○	○							
和歌山县	○						○					○	
鳥取県	○						○						
島根県	○						○			○	○	○	
岡山県	○					○	○						
広島県	○						○					○	
山口県	○			☆			○					○	
徳島県	○			○			○					○	
香川県	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	
愛媛県	○			☆		○	○	○	○	○	○	○	
高知県	○						○					○	
福岡県	○				○		○		○		○	○	○
佐賀県	○					○	○					○	
長崎県	○		☆			☆	○	☆				○	○
熊本県	○						○					○	
大分県	○			○			○					○	○
宮崎県	○						○	○	○	○		○	○
鹿児島県	○						○				☆	☆	
沖縄県	○	○				○	○				○		

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したものも配布したこと示す。

「パンフレット」欄の○は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「水の作文コンクール」欄の○は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示し、☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

第49回「水の週間」新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
5月29日	福島県	福島民友	地方	稻垣さん(会津学鳳)ら優秀賞 県中学生水の作文、5点全国へ
6月10日	埼玉県	埼玉新聞	地方	ダムの役割学ぼう 参加する親子募集
7月2日	北海道	プレス空知	地方	砂川の羽川さん優秀賞 中学水の作文北海道コン
7月5日	北海道	北海道新聞	地方	全日本水の作文コンクール 九島さん道教大付函館中3年道内最優秀
7月20日	福井県	福井新聞	地方	上下水道の仕組み展示や体験で学ぶ
7月23日	大阪府	日本下水道新聞	全国	自由研究を応援 まなび隊イベ開催
7月23日	香川県	西日本放送(ラジオ)	地方	節水チャレンジについて
7月24日	北海道	函館新聞	地方	全日本中学生水の作文・道地方コン 九島さん(付属中3年)最優秀賞
7月24日	群馬県	上毛新聞	地方	ザスパの細貝社長がサッカー指導 ハッ場ダムで水源わくわくセミナー 埼玉の自動と交流(群馬・長野原町)
7月24日	埼玉県	上毛新聞	地方	ザスパ細貝社長が指導 埼玉の児童とサッカー交流 ハッ場ダム・水源わくわくセミナー
7月26日	岩手県	胆江日日	地方	水や環境 尊さ作文に
7月26日	福島県	福島民友	地方	全日本中学水の作文コンクール 諸根さん(矢吹)優秀賞
7月26日	福島県	福島民報	地方	全日本中学水の作文 諸根さん(矢吹中)優秀賞
7月28日	山口県	宇部日報	地方	環境保護への意識高める、厚東川で親と子の水辺の教室
7月30日	鹿児島県	鹿児島建設新聞	地方	「水の日」ブルーライトアップ 来月1~7日 鶴丸城跡等で
7月31日	宮城県	河北新報	地方	8月1日「水の日」 8月1日~7日「水の週間」
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」、水の王国とやま
8月1日	滋賀県	滋賀報知新聞	地方	県中学生水の作文コンクール 最優秀賞は谷澤さん「川の始まりと水の未来」
8月1日	岡山県	山陽新聞	地方	岡山県庁舎ライトアップ
8月1日	熊本県	熊本日日新聞	地方	熊本地域の地下水を量を考える「水の日」でシンポ くまもと地下水財団 熊本市
8月2日	福井県	福井新聞	地方	「水の日」ちなみパネル展 大野 ライトアップや催し
8月2日	福井県	日刊県民福井	地方	水の日 川の生物何がいるかな 大野で子ども環境学習
8月2日	福井県	日刊県民福井	地方	ライトアップや催しめじろ押し
8月2日	福井県	日刊県民福井	地方	県内生息の淡水魚迫力の写真で紹介
8月3日	徳島県	NHK	地方	夏休みに親子で水難事故防止講習会 三好
8月4日	福井県	福井新聞	地方	アヒル402個 白熱レース 大野・木瓜川
8月5日	島根県	山陰中央新報	地方	「水の週間」ライトアップ

第49回「水の週間」新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
8月6日	岩手県	岩手日日	地方	堤体内部「涼しい」 胆沢ダムフェス夏 参加者が見学
8月6日	香川県	四国新聞	地方	魚のすくい 大はしやぎ 三豊で「水辺の納涼祭」
8月6～8日	滋賀県	京都新聞	地方	滋賀県中学生水の作文コンクール
8月7日	徳島県	徳島新聞	地方	SUP体験 池田ダム湖に歓声
8月8日	福島県	福島民友	地方	諸根さんらたたえる 水の作文県コンクール
8月8日	福島県	福島民報	地方	諸根さんらたたえる 全日本中学生水の作文県コン表彰式
8月8日	和歌山県	和歌山放送	地方	中学生水の作文コンクール・和歌山県入賞作品表彰式
8月9日	静岡	静岡新聞	地方	水の週間作文コン 入賞者11人を表彰
8月16日	福井県	日刊県民福井	地方	水鉄砲はじける笑顔 大野で「水まつり」始まる
8月16日	愛媛県	愛媛新聞	地方	水の循環 大切さ学んだよ
8月16日	鹿児島県	南日本新聞	地方	干潟の生き物観察 児童ら生態を学ぶ
8月17日	和歌山県	紀伊民報	地方	坂倉さん(田辺中)ら全国入選 県優秀賞には岩崎さんも、水の作文コンクール
8月20日	福井県	福井新聞	地方	九頭竜川ダム統合管理事務所 福井の中学生が一日所長 水テーマの作文で全国優秀賞
8月21日	茨城県	茨城新聞	地方	中学生「水の作文」最優秀賞に中島さん 県表彰式
8月21日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	大峯さん(都城泉ヶ丘付属中1年)総理大臣賞
8月28日	埼玉県	水道産業新聞	全国	中学生水の作文コンクールで表彰 埼玉県
10月1日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	全日本中学生水の作文コンクールで内閣総理大臣賞に輝いた大峯果林さん
10月3日	鹿児島県	鹿児島建設新聞	地方	水の作文コンクール 内閣総理大臣賞(最優秀賞)

「水の週間」実施経過

メインスローガン「水—この限りある貴重な資源」「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6.26)

(国土交通省に再編 H13. 1. 6)

(水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスター・キャッチフレーズ	実施事項	備考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会（国土庁会議室） (ポスター、パンフレット) ○第1回水資源に関するシンポジウム (10. 25)	・水の週間閣議了解 (5. 31) ・国連水会議 (3. 14 ~ 25) ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だナ	○ウォーターフェア'78 (銀座 松屋)	・水の週間実行委員会設立 (5. 8、11 団体) ・長期水需給計画策定 ・福岡渴水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水—いまこそいかそう私 たちの智恵—	育てよう水 —足どり確かに、 —歩一步。—	○ウォーターフェア'79 (船の科学館) ○第1回全日本中学生水の作文コンクール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか (福岡市)	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 —みんなの水を、みんなの水 で。—	○ウォーターフェア'80 東京 (科学技術館) ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渴水
昭和 56 (5)	水源地の人たちに感謝しましょう いのちの水・水とのであり。	今日の水・明日の水 —水みんなの和で 育てよう。—	○ウォーターフェア'81 東京 (科学技術館) ○第1回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア (兵庫県)	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア'82 東京 (科学技術館) ○第2回水資源に関するシンポジウム (8. 3 ~ 5)	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア'83 東京 (科学技術館)	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア'84 東京 (科学技術館)	・水資源局から水資源部へ改組 (国土庁) ・国際河川博覧会 (アメリカ・ニューオリンズ)
昭和 60 (9)	考え方水—くらしと水・資源とし て水—	水・ありがとう。	○ウォーターフェア'85 東京 (科学技術館) ○ウォーターフェア KOBE (神戸市)	・冬期渴水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア'86 東京 (科学技術館) ○ウォーターランド (新宿副都心) ○第1回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン (宮ヶ瀬ダム)	・水資源世論調査 ・冬期渴水 (西日本)
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア'87 東京 (科学技術館) ○第3回水資源に関するシンポジウム (浩宮殿下による特別講演) (8. 4 ~ 5)	・首都圏渴水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画 (ウォーターブラン 2000) 策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア'88 東京 (科学技術館) ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア'89 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア'90 東京 (科学技術館)	・人と水とのかかわり世論調査 ・首都圏渴水

年・回	サブスローガン	ポスター・キャッチフレーズ	実施事項	備考
平成3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア'91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考え方、水のあした	○ウォーターフェア'92 東京 (東京都庁) ○第4回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないからね	○ウォーターフェア'93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定(3.22)
平成6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア'94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成7 (19)		大切に使おう、かけがえのない 「水」	○ウォーターフェア'95 東京 (墨田区役所)	
平成8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20年。	○ウォーターフェア'96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア'97 東京 (科学技術館) ○第5回水資源に関するシンポジウム (8.4～5)	
平成10 (22)		みんなで考え方、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア'98 東京 (科学技術館)	
平成11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア'99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウォータープラン21)策定 ・小渕内閣総理大臣記念式典臨席、展示会視察
平成12 (24)		水の力	○ウォーターフェア2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア'01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足(1.6) ・全国的な渇水
平成14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア'02 東京 (新宿パークタワー) ○第6回水資源に関するシンポジウム (8.2～3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア'03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア'04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア'05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア'06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17年末に全国で大雪、降水量首都圏は平年並み
平成19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア'07 東京 (科学技術館) ○第7回水資源に関するシンポジウム (8.3～4)	・春から6月にかけ西日本を中心に少雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇水、夏に記録的高温
平成20 (32)		水がはぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア'08 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成21 (33)		将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア'09 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的な豪雨
平成22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア'10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成23年7月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成24年7月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム(発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備考
平成 26 (38)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（砂防会館） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立 ・水循環基本法における「水の日」の法定化 ・平成 26 年 8 月豪雨（広島、京都など） ・御嶽山噴火
平成 27 (39)		みんなで考えよう！水のこと！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（国連大学） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本計画閣議決定（平成 27 年 7 月） ・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨
平成 28 (40)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（科学技術館） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・皇太子同妃両殿下 水を考えるつどい行啓 ・全国的な渇水
平成 29 (41)		水を探そう	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（イイノホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 29 年 7 月九州北部豪雨 ・全国的な渇水
平成 30 (42)		水は、大切でした。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（イイノホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 30 年 7 月豪雨
令和元 (43)		私たちを支える水。 考えてみませんか。 訪ねてみませんか。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（パークタワーホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・全国的な渇水 ・令和元年 8 月前線に伴う大雨による土砂災害発生（佐賀県、長崎県など） ・令和元年 9 月台風 15 号による住家被害、大規模停電、断水（千葉県） ・令和元年 10 月台風 19 号による堤防決壊（東日本）
令和 2 (44)		ポケットモンスターのシャワーズも 8 月 1 日「水の日」を応援しています。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（Web 配信）	・世界中に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が蔓延 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定（令和 2 年 6 月） ・令和 2 年 7 月豪雨
令和 3 (45)		未来へうけつごう 日本のきれいな水	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（パークタワーホール） ○水の週間中央行事「水の展示会オンライン」	・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威 ・水循環基本法の一部改正（令和 3 年 6 月）、流域治水関連法の施行（令和 3 年 7 月） ・令和 3 年 7 月伊豆山土砂災害
令和 4 (46)		水を未来へつなごう シャワーズも応援！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい（イイノホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・水の展示会オンライン」	・水循環基本計画の一部見直しが閣議決定（令和 4 年 6 月） ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席 ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威
令和 5 年 (47)		限りある水資源 私たちにできること	○「水の日」記念行事 水を考えるつどい（イイノホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」（音楽の友ホール）	・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が 5 類へ移行（令和 5 年 5 月） ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席
令和 6 年 (48)		めぐる水、みんなで	○「水の日」記念行事 水を考えるつどい（日経ホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」（科学技術館）	・令和 6 年能登半島地震 ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定（令和 6 年 8 月）

年・回	サブスローガン	ポスター・キャッチフレーズ	実施事項	備考
令和7年 (49)		治水・利水・環境の調和を目指して ～いろんな水、探してみよう～	○「水の日」「水の週間」記念行事 水を考えるつどい（イイノホール） ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」（科学技術館）	・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席 ・東北地方と北陸地方を中心とした全国的な渴水 ・記録的な猛暑

水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないといってよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらひ水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渴水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるところとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みると、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げることが必要である。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

水の週間実行委員会組織

名誉会長 虫明 功臣
会長 小池 俊雄

令和7年10月1日現在

団体名	実行委員	運営委員
全国水土里ネット	専務理事	室本 隆司
造水促進センター	理事長	山本 和夫
日本治山治水協会	会長	山口 俊一
日本河川協会	会長	甲村 謙友
日本工業用水協会	会長	権田 裕徳
日本水道協会	理事長	青木 秀幸
全国簡易水道協議会	会長	北村 政夫
日本下水道協会	理事長	岡久 宏史
日本ダム協会	会長	押味 至一
利根川・荒川水源地域対策基金	理事長 常務理事	藤井 友竝 渡邊 和足
日本ウォータム	事務局長	細見 寛
地下水適正管理協議会	会長	山本 和夫
土木学会	会長	池内 幸司
農業農村工学会	会長	西村 拓
国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント 国際センター	センター長	小池 俊雄
水资源機構	理事長 理事	金尾 健司 ◎濱田 厚史
		ディレクター 情報部会長 専務理事 専務理事 首席審議役
		小宮 秀樹 島田 克也 三輪 準二 小泉 健 星川 泰輝

団体名	実行委員	運営委員
国土交通省(水资源部)	—	大臣官房審議官 水资源政策課長 水资源計画課長 水资源政策課水源地域対策企画官 水资源政策課課長補佐 東京都技監(都市整備局長兼務) 都市づくり政策部長 都市づくり政策部 水资源・建設副産物担当課長
東京都(都市整備局)	—	○玉置 賢 二俣 芳美 田中 敬也 田中 輝征 満岡 愛来 谷崎 馨一 飯泉 洋 松本 昇

◎運営委員長 ○運営副委員長

第49回「水の週間」ポスター



水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510